

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第23号 2012年1月15日発行【真田地域に全戸配布】

大きな写真で登場したのは、大畑自治会にお住まいの横沢もといさんです。昨年11月に100歳を迎えられました。スポーツが大好きで、とても陽気なもといさん。女学校に自転車で通い、テニスやバスケットボールが得意だったそうです。今もテレビの前で、野球や相撲の応援をしているとのこと。写真は娘さんと一緒に「アザレアンいきいき祭り」に参加された時のものです。19歳の頃のお写真も一緒に。



角間地区でのお茶のみ会にて。
この日はボーリング・わり箸袋作り・
最後に元気に万歳三唱をして締めくくりました。



あなたの骨盤、**ゆがんでない** 自信ありますか？

骨盤を整えて、キレイな姿勢を取り戻しましょう♪

カイロプラクティック ワラ



↓ まずは、お気軽にお問い合わせ下さい ↓

◆完全予約制◆ TEL 0268-72-3272

◆受付時間◆ 9:00～21:00(時間外もご相談下さい)



真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！
掲載無料。お気軽に編集部までご連絡ください。

[昔語りの会] 真田地域に生きた 女性たちの 戦前・戦後



真田らいてうの会会長 花岡静枝



●平和を願い、命を大切にする想い

「真田らいてうの会」では、らいてうさんが自然を愛し、平和を願い、命を大切に
する想いを、「らいてうの家」を拠点に発信
して参りました。

さまざまなテーマでイベントを行い、そ
の企画の一つとして「昔語りの会」を毎年
開催しています。日本人が過去に経験し
我々が忘れてはならない、また忘れがちな
大切なことをお話していただく場です。

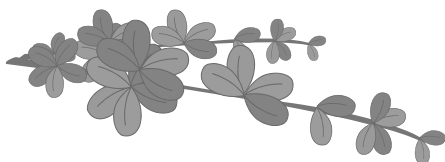
昔語りの会第一回目は「七〇年度の記憶」
としまして、3人の女性に大変な思いをさ
れた戦争体験を語っていただきました。第
二回目は「菅平に生きて」をテーマに、菅
平の開拓とそれにまつわる菅平の移り変わ
りを3人の女性に話して頂きました。

●我慢する心、大切な価値観

第3回目となる今年度は、元長村・傍陽
村・本原村に誕生した4人の女性を10月
23日(日)にお招きし、農村の女性が戦前・
戦中・戦後をどう生きて来られたかお話を
聞かせていただきました。

4人の皆様は、大正・昭和・平成をたく
ましく生きて来られました。貧しく厳しい
時代。家庭のために働き、「女性だから」「女
なんか」と言われた時代を乗り越え、現在
の女性の地位向上と自立をつなげる石積み
となって下さった方々です。

現在の忘れがちな我慢する心、大切な価
値観など、教えられるお話がたくさんあり
ました。



ゲストの皆様

松尾玉枝さん

大正14年生まれ。
傍陽村出身。
婦人会活動をされ、現
在もそば打ちに活躍さ
れる。



鈴木やよえさん

大正8年生まれ。長村出身。
戦前・戦中・戦後にご苦労
をされる。戦後に東京へ嫁
ぎ、日本刺繍を50年行い、
弟子の指導にあたる。夫が
亡くなり、出身の横尾に戻
られる。



牧内房子さん

大正12年生まれ。
傍陽村出身。
戦時中、小学校教師を務
め、戦後は学校給食に従
事する。



神津町江さん

大正15年生まれ。
傍陽村出身。
戦前・戦中・戦後を通し、
親を助け村の農業に従
事。嫁いで和裁を学び、
弟子を30年指導する。



行ってきました！



今回は、いこいの郷の

「クリスマス・忘年会」です



上原地域交流スペース「いこいの郷」は、昨年8月に開所しました。民家をそのまま利用したアットホームな交流所です。どなたでも自由にお寄りできる場で、月～金曜日の午前10時～午後4時まで開いています。参加費の100円を持参して、自分たちでやりたいことを決め、うどんやお好み焼きパーティー、手芸などを楽しんでいます。「クリスマス会・忘年会」は、昨年12月26日（月）に開催されました。参加者は民生委員や福祉推進委員、近所の方やアザレアンさなだの職員など、スタッフを含め計22名でした。

【みんなで昼食作り】

参加者とスタッフが一緒になって昼食作り。ケーキのデコレーションも手作りで。楽しそうにおしゃべりをしながら作業されていました。



【クリスマスの雰囲気】

メニューは、ちらし寿司・おでん・モロッコインゲンのクルミ和え・ハムのオードブル・漬物5種盛り・豆の煮もの、デザートはクリスマスケーキです。



【共通の趣味】

食後、皆さんの共通の趣味「手芸」が話題に。手作りのブローチや巾着、お人形などを見せ合い、今度教え合おう！と盛り上がりました。手元のお人形に注目！



【お茶飲み話】

参加者の皆さんで、和やかにお茶飲み。開所当初から通われている方や、今回が初めての方など、色んな方が集まり楽しいお話に花を咲かせていました。



参加者の声

★お互いに話をしたり色々な事を聞かせて頂いたり、歌ったりして楽しいです。 ★家にいれば一人で話すこともないので、ここに来ると楽しいです。生きがいです。 ★皆と開けっ広げに何でも話が出来て気が楽になります。いつまでも長くやってほしいです。 ★近い所にいい施設を作ってもらって、農業をしているので毎日利用はできませんが、今回はクリスマスリースを作ったり、飾りつけをしてもらって、クリスマスの雰囲気が出て良いです。 ★のんびりするし、気楽に好きなことができ、おしゃべりもできてとにかく気楽で良いです。

真田地域包括支援センターは、
高齢者の生活を支える総合相談窓口です
☎ 72-8055 有線 2080
(総合福祉センター内 社会福祉協議会)



スタッフのお話

★初めて参加しましたが、こんなに素晴らしいとは思いませんでした。お手伝いできればと思います。(民生委員)

★ここは、お茶飲みをして世間話をする場です。団地が多い地域に立地しているので、東京などから越してきて、近隣との交流が少ない方も、ここに来ることで良い交流の場になっています。今後は男性にも参加して頂くことが課題です。また、補助金事業で運営しているので、補助金がなくなる4月以降については、行政や参加者の皆さん、サポーターになっていただける方等の力を借りながら存続可能な方法を考えていきたいと思っています。皆の意見を吸い上げつつ、存続可能な方法を検討しています。(アザレアンさなだ・田中さん)

最後に、介護保険施設ではない交流の場として、「いこいの郷」は上原地域に受け入れられています。こういった施設が真田の各地域にできれば、交流を求めている方々や閉じこもりがちだけど何かしたい方々にとって、財産になると感じました。ぜひ皆が楽しめる場として、真田に根付いてほしいと願っています。



今年もやります！

古き良き郷、人情味溢れる郷、真田の郷

『みんなのつどい』

参加無料！！

日時：平成24年2月19日（日）11時～16時

会場：真田中央公民館 ＊構成・出店等計画中

<第一部 11:00～> みんなで楽しく・ふれあい！

- 地場産の試食&即売&お茶のみサロンコーナー
- 文化活動発表会
- 譲り合いコーナー

今でも使えるおもちゃ、遊具、絵本、贈答品、リサイクル品等々

※ 皆さんの持ち寄りなどのご協力をお願いします。

写真は昨年のもつどい

真田傍陽線 廃線記念展示会

日時：2月14日（火）～22日（水）

9時～17時

会場：アザレアン ギャラリー

真田傍陽線の廃線は、今から40年前の昭和47年。当時の真田町を回想していただきたく今年も企画しました。40～50年前の貴重な日常品や写真等展示・提供していただける方を募っています。

<第二部 13:30～> 温故知新みんなで歴史に学ぼう！

- 講演会：真田町の先人の思いに触れて

<第三部 15:00～> みんなで楽しんじゃおう！

- ミュージカル「六文銭の片隅で～11人目の真田十勇士～（予定）」

旬なイルミネーション★★

菅平菅平高原国際リゾートセンター前でステキなイルミネーションが設置され、夜の神秘的な世界を演出しています。皆様、是非ご覧になって下さい！



おしゃれな衣類・雑貨とアロマセラピー
パワーストーンのミニセレクトショップ！



営業時間 10:30～18:30（土・日・祝日10:30～18:00 定休日 月曜日）

おしゃれハウス AYUR アユール

上田市真田町本原545-14 電話0268(72)1553（本原医院様となり）

かり丸くん



真田グッズ

かり
真田雁丸屋

詳しくは

かり丸くん

又は

さくらゆき

で 検索

（TEL 0268-23-7313）

江戸前 寿し香

TEL 72-3630 有線5750

営業時間 11:30~13:30

17:00~22:00



畑山出身のご主人が、大畑の現在の場所にお店を構えて早 32 年。当初は、丼物や定食なども人気で、出前をご家族に手伝ってもらっていたそうです。数年後にバイパスが開通し、店の前が旧道といわれるようになってからは、お寿司のみのメニューになりました。



豊富なランチメニューに迷ってしまいます。今人気なのは女性ばかりの“女子会”です。会費 3000 円くらいで豊富なメニューを楽しめます。写真はランチの「海鮮定食」(800 円)です。7 種類のネタがいっぱいのって、お値段の割に十分満足！満腹！

お客様は地元の方が多く、話題に事欠きません。この日もお昼に近所の同級生という方が、ゆっくりとおしゃべりをしていました。「ここに来れば誰かいるかも…」と思って、ついつい来てしまう」とのこと。地元こんな居心地のいいお店があったら楽しいですね。

店内に流れる曲も 70 年代の懐かしい歌謡曲やフォークソングが中心で、「この曲が良い」といって通ってこられるお客さんもいるようです。同級生の一言「よく 30 年も続いたなー」、それは地元の皆さんの憩いの場所になっているからですね。

お店には、カウンター席と小上がり、奥には座敷があり、20 人程度の宴会ならば十分な広さです。新年に、寿し香のお味を堪能してみたいはいかがでしょう。



真田町の頌徳碑をたずねて 第 1 回◆相馬安次郎先生頌徳碑（傍陽村）

文・若林幸正（通信員 NO.49）

真田の発展に貢献された人の功績をたたえた頌徳碑。今回は、傍陽小学校の正門横に建設された初代校長、相馬安次郎先生の頌徳碑を紹介する。碑文には、

- 1 天保 13 年 5 月 相馬安次郎生まれる。
- 2 寛永 6 年 兵営修行、江戸勉学 2 年
- 3 明治 6 年～14 年 金縄学校教授
(明治 6 年～9 年) 傍陽小学校校長
- 4 明治 15 年～小泉室賀等各小学校で教授
- 5 明治 25 年 傍陽小学校訓●として再従事
- 6 大正 2 年 2 月 長野県知事賞（功績）

とあり、以上の先生の功績から、当時の傍陽小学校の発展が見られる。

また、就任以前の傍陽村には、寺子屋が存在していたことが、次の諸 3 人の師匠の略伝にうかがわれる。①山田芳居（天保元年～明治 26 年、入軽井沢村生まれ、代々八幡宮の神職）、②堀内治太夫（寛政 8 年～慶応元年、上洗馬村横道生まれ）、③柳沢長乾（文化 12 年～明治 8 年、洗馬村赤石生まれ）。その後、明治 5 年に学制が頒布され、翌 6 月金縄学校が開設された。

現在の 42 代傍陽小学校長には、関田芳和氏が就任している。先生は強い傍陽子育成のため、昔の小学校の歴史を学び故郷の地名を盛り込んだ「傍陽の子ども（あいうえお）」の歌を作詞して、毎日全校児童で朗読している。

編集協力／関田芳和先生 参考文献／「傍陽小学校 100 年誌」傍陽小学校・上田駅前・真田町図書館、
「相馬安次郎先生頌徳碑建設概要」若林幸正所蔵



相馬安次郎先生頌徳碑建設概要

建設年月日	大正 7 年 11 月 27 日
建設者	傍陽村、村長三井楽二郎
建設場所	傍陽小学校々内
建碑決算報告	収入 一金 1,604 円 60 銭 支出 一金 1,604 円 60 銭
寄付金芳名録	・他市町村の部 31 名 ・村内の部 754 名
頌徳碑除幕式	大正 7 年 11 月 27 日午後 1 時

CAFE & GALLERY
Seam
～茶庵～




日替りランチ 600 円《コーヒー付 700 円》数に限りがあります。
軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。
TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日
11:00 ～ 17:00 (ラストオーダー16:30)

◇◇求む！こんな物件◇◇
「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎！
「こんなところ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり…
カントリーハウス 21 は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしております。
↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ↓
COUNTRY HOUSE 21 真田町本原 1967-33 (担当: 石井)
いきなりホットライン: 080-5108-9701
ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

おらが **1番**!

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第23回◆
永野かおりさん(曲尾自治会在住)をインタビュー!!!

私は、昨年の夏まで高校の放送班に所属していました。最初は周りの人に「何で放送班なのか」と度々言われましたが、初めて聴いたお昼の放送で高校生とは思えない美声に魅了されたからだと思います。所属していた時は年2回の県大会を経て、北信越大会と全国大会に出場しました。両大会とも自分の長所と短所を見つめるいい機会になりました。また、フリーペーパーで記者をやらせていただいたり、交通安全広報車の軽井沢地域の声を担当させていただいたりもしました。

私の今の目標は報道関係の仕事に就くことです。自分の大好きな放送を続けるために、大学生になっても日々精進していきたいです。




現在の通信員
55名

一緒に真田のまちを 再発見しませんか？

身近な情報を
編集部へお寄せくださる
通信員を募集しています！

上原地区の地域交流スペース「いこいの郷」で ボランティアをしませんか？

地域の方々と一緒にお茶のみをしたり、参加者のやりたいことをサポートしていただいた



り。まずは見学においでください。詳細は「アザレアンさなだ」の田中文字子・依田和恵まで(電話 72-2781)

編集後記 ●新しい年が始まりました。今年はどうなる年になるでしょうか。明るい希望の持てる年になってくれることを願っています。ご近所の声掛けや見守り、小さな支え合いの輪が広がることを目標にしたいですね。寒さも本格的になりインフルエンザや感染性胃腸炎など、まだまだ注意が必要です。体の“首”を大切に。手首、足首等冷やさないようにご注意ください!! [田中文字子]

●「辰」年を迎えました。皆様、本年もよろしくお願いいたします。真田の冬はこれからが寒い!! 陽のあたらないところはカチカチの氷に覆われています。お年寄りや小さな子どもたちが転倒などしないように、ご近所で注意を促していただければと思います。また、地元の冬の超常現象など(異様に大きいツララとか)があれば編集部までお寄せ下さい。[田中晋]

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成 21 年 10 月 26 日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいところ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。

発行元:「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局:高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は 2012 年 2 月 15 日の発行です。